

令和3年度公益社団法人京都府青少年育成協会 事業報告

令和3年度は、協会創立50周年を記念して制定しました、青少年健全育成の取組を進める標語(スローガン)『気づいてる？ あなたのまわりの あたたかさ』のもと、青少年をあたたかく見守り、その健やかな成長を支援する健全な地域社会づくりを推進するため、「令和3年度重点目標」に沿って、活動を展開することとしました。

昨年来の新型コロナウイルス感染症の感染が引き続き状況の下、コロナ禍に対応しながら会員の皆様の御支援と、京都府をはじめとする関係行政機関、関係団体等の御支援、御協力をいただき、中止せざるを得ない事業もありましたが、少年の主張京都府大会や、令和3年度「家族ふれあい大賞」「第25回明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」を京都府、京都府教育委員会と共催しての取組み、広報誌「わかもの京都」の3回にわたる発行、HPの更新等、広報、情報提供活動などに重点を置いて、青少年育成府民運動の推進に努めました。

また、当協会が平成30年4月から引き続き指定管理者の指定を受けて管理・運営する「京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)」及び「宮津市B&G海洋センター」の各施設においても、コロナ禍で団体利用のキャンセルがでるなど、困難な状況にありましたが、この状況下においても実施可能な新規事業の展開に努めました。

参考

※4/25～5/11「緊急事態宣言」→5/31まで延長→6/20まで延長→7/11「まん延防止等重点措置」
※8/2～31「まん延防止等重点措置」8/20～9/12「緊急事態宣言」→9/30まで延長
※4.1/27～2/20「まん延防止等重点措置」→3/6まで延長→3/21まで再延長

〈令和3年度重点目標〉

「明るい家庭と地域の輪が育てる 心豊かな青少年」

～青少年をあたたかく見守る地域社会づくり～

- 1 青少年育成府民運動の推進
- 2 青少年の自主活動・社会参加の促進
- 3 明るい家庭づくり運動の推進
- 4 青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進
- 5 会員団体との連携・活動支援
- 6 京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)の利用促進

公1 「青少年育成府民運動の推進事業」の実施状況

【重点目標1】 青少年育成府民運動の推進

1 青少年健全育成推進のための街頭啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)」及び「子供・若者育成支援推進強調月間(11月)」に呼応し、府内の会員団体(青少年団体等)の協力を得て実施している街頭啓発活動は、コロナ禍で昨年度に続き実施出来ませんでした。

市町村民会議と協働の街頭啓発活動については、今年度は、亀岡市青少年育成地域活動協議会と協働で令和4年1月10日(月・祝)、亀岡駅前で行いました。

また、11月3日(水・祝)に京都府立京都学・歴史館で開催された「京都府子育て環境日本一サミット」で青少年健全育成に係るパネル等のブース展示やWEB特設ページに協会の活動を紹介すると共に、サミット参加者に啓発チラシ等を配布し、さらには、会場内で、昨年度の「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」の入賞作品を展示しました。

また、京都府と協働で、昨年度から、7月と11月の全国強調月間に呼応して、「青少年健全育成啓発パネル展」に取り組んでいます。

7月 5会場

*宇治総合庁舎、宇治市役所、亀岡総合庁舎、綾部市観光協会、峰山ショッピングセンターメイン

11月 7会場

*京都府庁2号館、京都市中央青少年活動センター、京都府立京都学・歴史館

宇治総合庁舎、亀岡総合庁舎、福知山総合庁舎、峰山ショッピングセンターメイン

また、「きょうと地域創生府民会議補助金(100千円)」を活用して、令和4年度版の青少年育成府民運動啓発カレンダー(別冊)を作成し、会員団体等に配布しました。
(新規)

2 「大人が変われば子どもも変わる運動」の推進

広報誌「わかもの京都(Vol.131)」からシリーズで「大人が変われば子どもも変わる」、「地域の子どもは地域で守り育てる」などをコンセプトとした啓発活動を展開しています。今年度は、134号でシリーズ3「地域のおじさん・おばさん運動」を掲載しました。

【大人が変われば子どもも変わる運動】

- 1 「まず、大人自身が変わる」啓発運動の推進
- 2 「地域のおじさん・おばさん運動」の推進
- 3 「モラルの向上を目指した取組」の推進

3 青少年育成市町村民会議懇談会の開催

府内を4ブロックに分けて開催してきた「市町村民会議懇談会」は、今年度は、8月下旬から9月上旬にかけて開催を計画しましたが、開催直前の新型コロナウイルスの第5波感染拡大による緊急事態宣言の発令により、昨年度と同様に中止せざるを得ませんでした。

※ 4ブロック(乙訓・南丹ブロック、山城北ブロック、山城南ブロック、中丹・丹後ブロック)

4 「青少年育成市町村民会議訪問」の実施(新規)

懇談会中止の代替事業として、京都府健康福祉部こども・青少年総合対策室と連携し、「青少年育成市町村民会議の訪問」を実施することとし、11月に市町村民会議(8団体)を訪問し、それぞれの団体の役員等との懇談を行いました。

この懇談に出席していただいた京都府こども・青少年総合対策室からは、府の「子育て環境日本一」の施策を中心に、府の青少年健全育成の取組等についてお話しいただくと共に、市町村民会議の役員の皆様のお話を直接お聞きいただきました。

また、協会からは、啓発活動、明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展、少年の主張京都府大会、京都府青少年すこやかフォーラムの開催など協会の事業について、各市町村民会議との連携・協働を要請しました。その後、各団体のコロナ禍における活動の状況等について懇談しました。

各団体からは、3年度は、緊急事態宣言解除後、市町村の「少年の主張大会」を工夫して実施するなど、それぞれの地域に即した前向きな活動再開の兆しが見えてきたが、1月以降、第6波感染拡大による「まん延防止等重点措置」の適用で、計画されていた取組の中止が相次いだとの報告がありました。

【市町村民会議の訪問計画】(当面、3年計画で実施する。)

【令和3年度】 向日市青少年健全育成連絡協議会、宇治市青少年健全育成協議会、京田辺市青少年問題連絡協議会、木津川市青少年育成委員会、亀岡市青少年育成地域活動協議会、舞鶴子ども育成支援協会、宮津市青少年問題協議会、和束町青少年育成委員会

【令和4年度】 長岡京市青少年健全育成推進協議会、城陽市青少年健全育成市民会議、福知山市青少年問題協議会、京丹後市青少年健全育成会、井手町青少年を育てる会、精華町青少年健全育成協議会、南山城村青少年育成協議会、京丹波町青少年育成協会、与謝野町青少年育成会

【令和5年度】 八幡市青少年育成補導委員会、南丹市青少年育成協会、綾部市青少年育成連絡協議会、大山崎町青少年健全育成協議会、久御山町青少年健全育成協議会、宇治田原町青少年対策協議会、笠置町青少年育成委員会、伊根町子どもの安全を守る連絡会

5 「青少年健全育成地域連携推進事業」の実施

(1) いじめ・非行防止フォーラムの開催

府内5つの教育局等と連携し、「いじめ・非行防止フォーラム」を共催・後援・協賛で開催しています。令和2年度は、コロナ禍で5教育局とも中止となりましたが、3年度は、動画配信等の工夫をして取り組んでいただきました。

乙訓(後援) 乙訓いじめ・非行防止フォーラム

6月30日(水)～8月31日(火)動画配信 参加者 227名

山城(共催) 山城未来っ子みんなでHUGフォーラム

6月24日(木)・府田辺総合庁舎
8月27日(金)～9月10日(金)動画配信 参加者 220名

南丹(後援) なんとん子育てフォーラム

8月21日(土)～9月30日(木)動画配信 参加者 200名

中丹(共催) みんなでコラポ in 中丹

7月14日(水)～9月30日(木)動画配信 参加者 200名

丹後(協賛) 丹後いじめ・非行防止フォーラム

7月4日(日)・府宮津総合庁舎(オンライン) 参加者 130名

(2) 京都府青少年すこやかフォーラム（市町村との連携）

青少年育成関係者みんなで「学び、考え、行動する」機会として、子どもたちへの危険性が増大しているスマホやインターネットの利用の現状について、あるいは、青少年の薬物乱用防止等について、自ら考える機会として、青少年育成市町村民会議や青少年(育成)団体等と連携・協働し、時機を得た内容でフォーラムを開催することとしています。

3年度は、亀岡市青少年育成地域活動協議会との共催で、本年2月6日(日)に亀岡市民ホールで開催することとしていましたが、1月27日に出された「まん延防止等重点措置(～2/20)」より、やむなく2年続けての中止としました。

6 広報・情報提供事業の実施

(1) 広報誌「わかもの京都」の発行

協会の活動等を紹介する広報誌「わかもの京都」(定期号)を年1回(5,000部)発行し、会員団体等に配布しています。(Vol.134は令和4年3月発行)

また、コロナ禍で、対面での啓発活動の実施が困難な中、青少年へのメッセージを届けると共に、市町村民会議や青少年団体の活動等を紹介する「わかもの京都」(臨時号)を発行しました。7月に「2021夏号」を、12月に「2021冬号」をそれぞれ3,700部発行し、各小・中・高等学校や関係機関に配布しました。

(2) 協会ホームページによる情報発信の充実

※ コロナ禍で街頭啓発活動が出来ない中、ホームページのタイムリーな更新に努めました。(延べ 137回更新)

※ 協会ホームページにカウンターを設置しました。(令和2年10月4日) 9,127人のアクセス(R4.3.現在)

※ 昨年度に続き、少年の主張京都府大会の動画(YouTube)を協会ホームページに掲載しました。視聴 532件(令和3年10月7日配信スタート)・・・(いずれも R4.3.現在)

※ 「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」の入賞作品や、「少年の主張京都府大会」の入賞作品を掲載しました。

※ 京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)及び会員団体等と連携して、団体のホームページ(バナー)を活用し、「子供・若者育成支援推進強調月間(11月)」の啓発を行いました。(新規)

【協力いただいた会員団体等(8団体)】

* 京都青少年ゆめネットワーク、京都府ボランティア協会、京都府立ゼミナールハウス、京都府レクリエーション協会、日本ボーイスカウト京都連盟、(公財)青少年野外活動総合センター、京都府立青少年海洋センター、城陽五里五里の丘(非会員)

【重点目標2】 青少年の自主活動・社会参加の促進

1 「第43回少年の主張京都府大会」の開催

次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける健やかな成長が求められています。そのためには、広い視野と柔軟な発想や想像力などとともに、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身につけることが大切です。

子どもたちにとって、これらの契機となることを願い、第43回少年の主張京都府大会を開催しました。

(1) 応募状況及び入選・佳作人数

| | 応募校数 | 応募編 | 入選 | 佳作 |
|---|------|---------------------|-----|-----|
| ㊸ | 38校 | 3,049編 | 16名 | 20名 |
| ㊹ | 29校 | 2,890編 | 15名 | 30名 |
| ㊺ | 32校 | 2,874編 | 20名 | 28名 |
| ① | 32校 | 4,713編 | 16名 | 25名 |
| ② | 23校 | 1,586編(推薦9校9編含む。) | 17名 | 20名 |
| ③ | 34校 | 5,385編(推薦14校14編含む。) | 16名 | 30名 |

(2) 入賞者等の選考

事前の審査委員会で発表者16名(編)と佳作30名(編)を選考しました。

また、16名の主張発表を踏まえ、当日の審査委員会で京都府知事賞を始め各賞を決定しました。

京都府知事賞を受賞された京都光華中学校3年林紗花さんを、全国大会候補者として推薦しました。審査の結果、中部・近畿ブロック代表(3名)として全国大会(Web開催・12名が発表)で発表され、国立青少年教育振興機構奨励賞を受賞されました。

(3) 大会参加者

コロナ禍で、今年度の大会も昨年度に続いて、参加対象者を発表者の家族及び学校関係者等とし、人数制限し、感染予防対策を講じて開催しました。(参加者88名)

(4) 市町村民会議等との連携(作文の「推薦制度」の導入)

多くの市町村で主張大会を取り組まれています。大半の大会の開催時期が京都府大会開催日以降であり、全国大会(11月開催、作文の推薦期限は9月下旬)日程との関係から、京都府大会に係る作文の応募締切を8月上旬とし、大会を9月下旬までに開催しなければならず、市町村大会を京都府大会に繋げることが出来ない中で、市町村大会と京都府大会との連動、取り組みの広がり等を期待し、作文の推薦制度を令和2年度から導入しました。

※「推薦制度」 前年度の京都府大会以降、当該年度の京都府大会までの間に開催された市町村の大会で発表された中学生を、京都府大会に推薦することができる。

【市町村民会議等からの推薦状況】

②5市町 9校(9編)(向日市、久御山町、京田辺市、宇治田原町、与謝野町)

③5市町 14校(14編)(京田辺市、宇治田原町、舞鶴市、宮津市、与謝野町)

(5) 京都府大会の協働開催等

京都府大会は、この間、京都市内で開催してきましたが、取り組みの広がり期待し、今後、市町村民会議等と連携し、府内各地で開催することとします。

〈令和3年度〉

9月23日(木・祝)に本願寺聞法会館で前年度同様、参加人数を制限し、関係者のみで開催しました。今年度から、大会を「秋分の日」に固定することとしました。また、昨今の気象状況を考慮し、直近の土曜日又は日曜日を予備日として設定することとしました。

〈令和4年度〉

令和4年9月23日(金・祝)に本願寺聞法会館で大会を開催します。また、9月25日(日)を予備日(会場:京都府総合教育センター)とします。

〈令和5年度以降〉

令和5年度については、令和2年度コロナの影響で会場変更となった宇治市内での開催について、宇治市青少年健全育成協議会と協議します。また、令和6年度以降も、他の市町村民会議と連携し、府内各地で開催していく予定です。(京都市内での開催も含む。)

(6) 作品集の発行等

入賞作文を網羅した作品集(&絵画展)(別添)を3,000部作成し、関係機関等に配布しました。

また、京都府大会の主張発表を記録したDVDを350枚作成し、各中学校等に配布しました。

大会の動画(You Tube)を協会のHPに掲載しました。〈再掲〉

(7) 中学校長会議等で取組の協力要請

京都市、乙訓・山城・南丹・中丹・丹後及び私立の各中学校長会議で取組の協力要請を行っています。府立の附属中学校については個別に訪問し、協力要請しています。

2 京都府子ども議会(隔年開催)

京都府子ども議会は、隔年開催の事業で、令和元年度までは、共催団体として協力してきました。

今年度から後援団体として協力する予定でしたが、コロナ禍で、子ども議会(8/10)が中止となりました。

【重点目標3】 明るい家庭づくり運動の推進

1 明るい家庭づくり運動の普及・推進

- (1) 協会は、青少年の健やかな成長にとって家庭の役割の大切さを再認識していただくため、毎月第4土曜日を「家庭の日」として、明るい家庭づくり運動を進めています。

また、広報誌「わかもの京都」、啓発用のチラシ、「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」入賞作品の巡回展示、協会ホームページ、公用車ポディー等で啓発をしています。

- (2) 「絵画展」事業の入賞作品を活用した「明るい家庭づくり運動啓発カレンダー」を3,000枚作成し、各小学校や関係機関等に配布しています。(㊟～)

2 明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展～「明るい家庭づくり」運動の普及啓発事業～

「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」事業は、本年度から、京都府の「家族ふれあい大賞」事業の絵画部門と統合し、『令和3年度「家族ふれあい大賞」「第25回明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展』として、京都府・京都府教育委員会・(公社)京都府青少年育成協会の三者の共催で実施することとなりました。

※京都府が、募集チラシを全児童分印刷し、各小学校等を通じ、児童に配布。

- (1) 応募対象
府内の小学校児童

- (2) 応募状況及び入賞・佳作人数

| | 応募校数 | 応募数 | 入賞 | 佳作 |
|--------|------|------|-----|-----|
| ㉘(20回) | 17校 | 256点 | 15名 | 8名 |
| ㉙(21回) | 34校 | 336点 | 23名 | 15名 |
| ㉚(22回) | 59校 | 479点 | 23名 | 16名 |
| ①(23回) | 65校 | 673点 | 23名 | 22名 |
| ②(24回) | 49校 | 483点 | 23名 | 35名 |
| ③(25回) | 113校 | 706点 | 23名 | 48名 |

※今年度、学校数・応募数、市町村数共に最高数値となりました。

- (3) 入賞者等の選考

選考を円滑に行うため、令和2年度事業から、選考委員会(協会が実施)の前に、専門家による事前の選考を行っています。

協会の選考委員会(11月10日(水))を経て、京都府が設置する「家族ふれあい大賞審査委員会」(12月15日(水))で入賞作品を決定しました。

京都府知事賞は、伊根町立本庄小学校5年・三野希歩さん

個別賞(家族ふれあい大賞・「家庭の日」賞・まいにちがたからもの賞)14作品、優秀賞9作品、佳作48作品

- (4) 入賞者(個別賞14名)の表彰式

出席人数を制限(本人及び付き添い)し、令和4年2月23日(水・祝)に京都ガーデンパレスで開催しました。

なお、優秀賞及び佳作の賞状は、当該児童の在籍小学校に届け、校長から伝達していただきました。

また、入賞作品の作品集(&主張大会)を3,000部作成し、小学校等に配布しました。(再掲)

- (5) 今年度の入賞作品の巡回展示

3月2日(水)、宇治田原町会場からスタートしました。

応募者の増加等に伴い、展示会場が増加しています。

㉘7会場、㉙11会場、㉚16会場、①19会場、②19会場、③24会場

※㉚から佳作の児童が在籍する該当市町村に展示の協力を依頼しています。

※宇治市会場は、宇治市教育委員会と共催で実施しています。

- (6) 取組の協力要請

京都市、乙訓、山城、南丹、中丹、丹後、私立の各小学校長会議で児童への周知や作品のとりまとめ等についての協力要請を行っています。

【重点目標4】 青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進

1 青少年(育成)団体等との連携(取り組みへの協会の参加等)

㊸26団体 ㊹22団体 ㊺27団体 ㊻33団体 ㊼・㊽コロナ禍で、団体の取組が中止あるいは Web 開催となりました。

2 「京都子育て環境日本一推進会議」への参画

令和3年6月、京都府内の経済・労働団体や保育・教育機関、民間企業、行政など幅広い分野の団体が参加して発足した「京都府子育て環境日本一推進会議」に令和4年3月18日に参画しました。

また、「子育て環境日本一」の主要事業「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」による京都府オリジナル「泣いてもかましまへん！」ステッカー等の配布等にも協力をしています。

3 京都府青少年健全育成審議会への参画

今年度は開催されませんでした。

4 京都府青少年健全育成功労者等知事表彰への協力(京都府事業)

青少年の健全な育成に多大な貢献のあった個人や団体、他の模範となる活動を行った青少年や団体の功績を讃え、青少年健全育成に対する社会の関心を高めることを目的として京都府知事が「青少年の健全な育成に関する条例」第11条により表彰する京都府事業に協力しました。

【表彰式】

- ・令和3年11月24日(火) 於、ルビノ京都堀川
- ・受賞者 個人21名 団体4団体

【重点目標5】 会員団体との連携・活動支援

1 会員団体等の活動に対する助言・共催・後援等

㊼・㊽ コロナ禍で、団体の取組の大半が中止となりました。

【令和3年度 後援等の状況】

- ・舞鶴市中学生の主張大会 6/26(土) …後援(コロナ禍での開催で、会長メッセージを届けた。)
- ・(公社)京都青年会議所創立70周年記念式典 7/21(水) Web 開催(会員団体:会長オンライン出席)
- ・第29回いのちの講演会 9/18(土) オンライン開催 …後援
- ・社会教育活動実践交流フォーラム 11/ 2(火)・舞鶴市中総合会館
- ・府民交流フェスタ(府立植物園) 11/ 3(水・祝) …協会:オンライン型フェスタに参加
- ・きょうと子育て環境日本一サミット 11/ 3(水・祝)・府立京都学・歴史館
…啓発パネル等のブース展示、参加者への啓発チラシ等の配布、絵画展入賞作品の展示
- ・きょうと子育て環境日本一山城地域サミット 11/23(火・祝)・木津川市山城総合文化センター
- ・きょうと子育て環境日本一丹後地域サミット 12/19(日)・与謝野町「知遊館」
- ・青少年いいねット京(みや)フォーラム 11/21(日) オンライン開催
- ・久御山町青少年の主張発表会(1/15(土)) …・会長が出席(祝祭)の予定であったが中止になった。
- ・きょうと薬物乱用防止行動府民会議総会 2/1(火) Web 開催

2 「府民交流フェスタin植物園」への参加

「府民交流フェスタin植物園」のオンライン型に参加し、京都府総合計画の5つのテーマの中から、「子育て環境日本一」のサイトに当協会の活動を紹介しました。

(令和3年11月～令和4年3月)

3 啓発資材の貸出等

月間横断幕、標語横断幕、啓発活動のぼり(各種)、啓発パネル、啓発活動ジャンパー・ベスト等の貸出や協会作成の啓発用チラシやポケットティッシュ(府業務課)の提供を行っています。

【その他 法人の運営等】

1 研修会・会議等への参加

内閣府主催の研修会に参加しました。

・近畿ブロック研修会(オンライン) 令和3年8月23日(月)…1名参加

・中央研修会(オンライン) 令和3年11月29日(月)～30日(火) …2名参加

2 公益社団法人の運営等

【総 会】 令和3年6月22日(火) ルビノ京都堀川

【理 事 会】 第1回 書面議決【令和3年6月3日(木)】

第2回 令和3年6月22日(火) ルビノ京都堀川

第3回 令和4年3月15日(火) ルビノ京都堀川

【監事監査】 令和3年5月17日(月)、協会活動室

【三役会議】 第1回 令和3年12月8日(水)

第2回 令和4年 3月2日(水)

出席者:会長、副会長、常務理事

令和3年6月1日(火)に予定していましたが、コロナ禍で中止としました。

3 財政基盤の充実

(1) 会員の加入促進(自主財源の確保)

正会員・賛助会員の会費収入が、協会の主だった自主財源です。

協会の理事等の協力を得て、会員(個人、団体)の加入促進を図ることとしています。

※ 正会員・賛助会員の現状(令和3年7月1日現在)

正 会 員 33名、57団体

賛助会員 31名、 2団体

(2) 財源の確保

きょうと地域創生府民会議の補助金(②～各年100千円(税別))

啓発活動の充実等に活用

③青少年育成府民運動啓発カレンダー(チラシ)の作成に活用(再掲)

(3) 日常的な経費の節減

ネット印刷の活用、公用車による啓発資料等の配付等

公2 「青少年海洋活動施設事業」の実施状況

【重点目標6】 京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)の利用促進

○ 京都府立青少年海洋センターの部

1 概略

京都府から指定管理者として指定を受けた府立青少年海洋センターの管理運営業務を適正に遂行し、青少年の健全育成を図るため、小学校・中学校・高等学校等教育機関をはじめ、青少年団体及び青少年スポーツ団体の理解と協力を得て施設利用の拡大に努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出に伴う休館措置やまん延防止等重点措置により宿泊研修中止が相次ぎました。

宿泊施設利用人数は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の出していない時期に増え、前年から倍近くになりましたが、依然として厳しい結果となりました。

昨年度に引き続き、宿泊利用を中止した団体には、カッター活動時期を10月末まで約1ヶ月延長し、日帰りでの受入れに対応することで、利用促進に努めました。

2 宿泊施設等の利用状況

(単位:人)

| 施設名 | 令和3年度 | 令和2年度 |
|-------------|--------|-------|
| 宿泊施設 | 4,014 | 2,080 |
| 研修施設 | 2,770 | 1,525 |
| 海の科学館 | 157 | 0 |
| ボルダリング場 | 621 | 418 |
| トレーニング場 | 184 | 162 |
| フィールドアスレチック | 1,908 | 1,203 |
| 野外炊事場 | 657 | 200 |
| カッター附属設備 | 2,262 | 1,479 |
| 合計 | 12,573 | 7,067 |

3 利用促進及び広報活動等

- (1) 京都府道路公社発行の「沿線ガイド」お出かけスポットに毎月掲載(現在も毎月掲載中)
京都銀行・カーディーラー等、約150店舗に配架
- (2) ホームページから公共施設案内予約システムにより空き状況を提供
- (3) フェイスブックによる施設のPR
- (4) 2021年度大学生協の宿泊プラン「合宿・ゼミ旅行の宿」インターネットWEB版及びパンフレット縮刷版に掲載(印刷紙媒体の縮小)
- (5) 合宿情報誌「ザ・合宿」とHP専用の「マジキャン」に掲載
- (6) 近隣観光協会とタイアップし地元産業等を活用しプログラムを充実
- (7) キャッシュレス決済の提供
- (8) 京都市教育委員会、ガールスカウト京都府連盟への訪問

4 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る具体的な対策と措置

- (1) 緊急事態宣言発出による臨時休館・・・令和3年4月25日(日)～同5月31日(月)
- (2) 緊急事態宣言発出による臨時休館・・・令和3年8月20日(金)～同9月30日(木)
- (3) 緊急事態宣言発出による府民以外の利用制限、午後8時までの利用制限
・・・令和3年6月1日(火)～同6月20日(日)
- (4) まん延防止等重点措置期間
・・・令和3年8月2日(月)～同8月31日(火)後に8月20日(金)から緊急事態宣言に移行
・・・令和4年1月27日(木)～同3月21日(月)
- (5) 新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインの策定、施設管理者への対応指示
- (6) 感染予防ガイドラインにより宿泊人数を160名までに制限・研修室、食堂の座席制限とパーティションの設置
- (7) 宿泊利用者の検温と健康調査票の提出(入所時・午後活動終了後・起床時)2回/日以上
- (8) 手指アルコール消毒液の設置
- (9) 食堂・喫茶コーナー・科学館1F・第3研修室・第4研修室・保健室を換気可能窓への改修

5 主催事業・共催事業等

本年度は事業計画の18事業に2事業を加えた20事業を予定しましたが、コロナ禍により9事業、参加者が得られなかったことにより1事業、宿泊団体の受入により2事業の合計12事業については中止としました。

| 事業名 | 実施日 | 参加人員 | 内容等 |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (日帰り) 親子でカヌー体験① | 令和3年8月1日(日) | ①6家族16名 | 漕艇方法の習得 |
| (日帰り) 親子で野外炊事体験 | 令和3年10月3日(日) | 1家族4名 | 親子で野外炊事体験とフィールドアスレチック体験 |
| 家族利用 DAY | ①令和3年10月16日(土) ～17日(日)(1泊2日) ③令和3年12月4日(土) ～5日(日)(1泊2日) | ①1家族3名 ③2家族8名 | 家族単位での宿泊体験 |
| 施設無料公開 | ②令和3年11月14日(日) ③令和3年12月5日(日) | ②延64名 ③延31名 | 施設の無料公開 ②は起震車による防災体験実施 |
| マリンピアでクリスマス | 令和3年12月19日(日) | 延180名 | 宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部他によるミニコンサート・革キーホルダークラブ・唐揚げ、ポテト、クレープの無料提供 |
| NPO 法人地域型スポーツクラブレインボー合同事業 親子でニュースポーツ体験 「マリンピック2020」 | 令和4年2月23日(水) | 幼児 2名 小中高生 24名 一般 29名 合計 55名 | 地域型スポーツクラブ NPO 法人 Sport Club RAINBOW と共同開催。体育館にて「ユニボッチャ・ウエルネスダーツ・卓球・バレー・ウォーキングサッカー・車いすリレー」の5種目を体験。雪遊びの時間も設定 |

中止した事業

(1) コロナ関連

| 事業名 | 実施日予定日 | 備考 |
|-----------------------|------------------------------|----------------------------|
| 親子でカヌー体験② | 令和3年8月29日(日) 日帰り | 緊急事態宣言発出に伴い中止 |
| アウトドア DE 愛 | 令和3年9月12日(日) 日帰り | 男性9名を受け付け後に緊急事態宣言発出に伴い中止 |
| 共催 明治国際医療大学ライフセービング実習 | 令和3年9月18日(土) ～23日(木) 5泊6日 | 緊急事態宣言発出に伴い中止 |
| 共催 赤十字水上安全法救助員養成講習Ⅱ | 令和3年9月24日(金) ～26日(日) 2泊3日 | 緊急事態宣言発出に伴い中止 |
| 親子で野外炊事体験・カッター体験 | 令和3年9月26日(日) 日帰り | 3家族6名を受け付け後に緊急事態宣言発出に伴い中止 |
| 地域スポーツ団体合同事業「親子のつどい」 | 令和4年1月29日(土) ～30日(日) 1泊2日 | まん延防止等重点措置発出に伴い中止 |
| スポーツ DE 愛 | 令和4年2月20日(日) 日帰り | 男女9名を受け付け後にまん延防止等重点措置に伴い中止 |

(2) その他

| 事業名 | 実施予定日 | 備考 |
|-------------------|-------------------------------|-------------|
| 与謝蕪村顕彰「俳句作りと歴史散策」 | 令和3年7月10日(土)～ 11日(日) 1泊2日 | 申込者得られず中止 |
| 施設無料公開① | 令和3年10月17日(日) 日帰り | 宿泊団体受入のため中止 |
| 家族利用 DAY② | 令和3年11月13日(土) ～14日(日) 1泊2日 | 宿泊団体受入のため中止 |

(3) 追加事業等

| 事業名 | 実施予定日 | 備考 |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 文部科学省委託事業 体験活動を通じた青少年自立支援プロジェクト「カヌーと野外炊事」 | (変更前) 令和3年8月17日(火) ～18日(水) 1泊2日 (変更後) 令和3年8月23日(月) 日帰り | 災害級の大雨により、日帰り事業として日程を延期しましたが緊急事態宣言発出に伴い中止 |
| 協賛事業 NPO法人国際ボランティア学生協会 阿蘇海環境づくり活動(カキ殻回収) | 令和4年3月4日(金) ～7日(月) 3泊4日 | まん延防止等重点措置に伴い中止 |

6 その他の諸活動

- (1) きょうと子育て応援パスポート事業の実施に伴いフィールドアスレチックの利用料を免除することにより、家族のふれあいの場を提供しました。
- (2) 京都府消防団応援の店に登録し利用料の減免措置を適用しました。
- (3) 定期的にセンター前浜公園や浜海岸の清掃を実施し環境美化に努めるとともに、資格所有職員による高所作業車での剪定作業をはじめ、ペンキ塗装・薪づくりを職員で行い経費節減に努めました。
- (4) 施設利用団体からアンケートを収集し、利便向上やニーズに応じたサービスを心がけるように努めました。
- (5) 主な会議と研修等

| 日付 | 項目 | 会場など |
|--------------|------------------------|------------------|
| 4/26 | マリーンピア経営戦略会議 | 京都府立青少年海洋センター |
| 5/17 | 京都府青少年育成協会監事監査 | 京都府青少年育成協会事務局 |
| 6/3 | 京都府青少年育成協会第1回理事会(書面決議) | |
| 6/22 | 京都府青少年育成協会 定時社員総会 | ルビノ京都堀川 |
| 6/22 | 京都府青少年育成協会第2回理事会 | ルビノ京都堀川 |
| 9/10 | 田井宮津ヨットハーバー今後の説明 | 京都府立青少年海洋センター |
| 11/25 | 第1回消防訓練 | 京都府立青少年海洋センター |
| 11/30 | 第1回田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会 | ミップル4F コミュニティルーム |
| 12/8 | 京都府青少年育成協会第1回三役会議 | ルビノ京都堀川 |
| 12/8 | 安全運転管理者講習 | 歴史の館 |
| 2/16 | 第2回田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会 | ミップル4F コミュニティルーム |
| 3/1 ~ 3/7 | 人権問題職場研修(ユーチューブ各自視聴) | 京都府立青少年海洋センター |
| 3/2 | 京都府青少年育成協会第2回三役会議 | ルビノ京都堀川 |
| 3/10 | 防災リュック実演とパラコードワークショップ | 府中地区公民館 |
| 3/15 | 京都府青少年育成協会 第3回理事会 | ルビノ京都堀川 |
| 3/17 | 第2回消防訓練 | 京都府立青少年海洋センター |
| 3/18 | 第3回田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会 | ミップル4F コミュニティルーム |

(6) 主な施設整備補修等

| | |
|------------------|-----------------------|
| ベルタイマー(チャイム時計)取替 | 重油サービスタンク通気管取替 |
| 宿泊棟2階談話室LED照明に取替 | 厨房回転釜給水栓取替 |
| 厨房水栓用金具取替 | 宿泊棟廊下誘導灯取替 |
| 食堂出入口両開きドア修理 | 宿泊棟・科学館・身障者用トイレタイル張替え |
| ソーラ集熱器漏水箇所止水作業 | ロビーLED取替 |
| ミーティングコアベンチ塗装修理 | 身障者用スロープ壁塗装修理 |

| | |
|--------------------|---------------|
| アスレチック東屋屋根塗装修理 | 講堂床修繕 |
| アスレチック遊具修繕 | ボイラーNo2 送風機取替 |
| ミーティングコア土間コンクリート工事 | 宿泊棟屋外トイレ排風機取替 |
| 宿泊棟威臨丸リーダー室排気ファン取替 | 玄関通路屋上防水補修工事 |
| 給水元弁取替修理 | 男女浴室混合三方弁取替修理 |
| 男女浴槽補助ポンプ温度調節装置取替 | ボイラー制御盤取替 |

○ 宮津市B&G海洋センターの部

1 概略

スポーツを通じて青少年の健全育成及び観光の振興を図る施設として、従来から主に京都府立青少年海洋センターの宿泊団体(研修・野外活動・観光)及び利用者の補完施設として有機的に連携し有効利用に資すること、更には地域住民の「コミュニティづくり・健康づくりの拠点」及び「海の京都」におけるスポーツ観光の振興拠点として施設提供に努めることを基本としています。

本年度においても、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置等により、利用予約がキャンセルされましたが、行動制限の規制緩和により利用人数、利用料とも対前年度約 200%となりました。

また、青少年海洋センターのホームページを活用し、PR・広報活動に取り組みました。

2 施設利用状況

| | | 令和3年度 | 令和2年度 |
|-----|----|---------|---------|
| 体育館 | 件数 | 154 件 | 97 件 |
| | 人数 | 7,402 人 | 3,715 人 |
| 艇庫 | 件数 | 46 件 | 17 件 |
| | 人数 | 46 人 | 17 人 |

3 施設利用促進の取組

冷暖房設備の完備、レスリング備品一式の配備、宿泊施設の併設などレスリング合宿に最適な環境である「海の京都タックルアリーナ」として、京都府立青少年海洋センターと一体的な利用促進に努めました。また、宮津市所在の学校及び宮津市所在の各種団体の体育館利用料金は使用料免除措置を行い、地元地域の利用促進に努めました。

- (1) 2021 年度大学生協の宿泊プラン「合宿・ゼミ旅行の宿」インターネットWEB版及びパンフレット縮刷版に掲載(印刷紙媒体の縮小)
- (2) 合宿等を扱う情報誌「ザ・合宿」とHP専用の「マジキャン」へ掲載
- (3) ホームページ・SNSの活用宣伝

4 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る具体的な対応・措置

- (1) 緊急事態宣言による臨時休館
 - ア 令和3年4月25日(日)～同5月31日(月):37日間(延長期間を含む)
 - イ 令和3年8月20日(金)～同9月30日(木):42日間(延長期間を含む)
- (2) 緊急事態宣言延長による午後8時までの利用制限
令和3年6月1日(火)～同6月20日(日):20日間
- (3) まん延防止等重点措置期間
 - ア 令和3年8月2日(月)～同8月31日(火)後に8月20日(金)から緊急事態宣言に移行
 - イ 令和4年1月27日(木)～同3月21日(月)

- (4) 京都府立青少年海洋センターと一体化した感染予防ガイドラインの策定
- (5) 入場者数の制限、利用者の検温、手指アルコール消毒液の設置 等
- (6) 利用者の検温、手指アルコール消毒液の設置 等

5 自主事業・合同事業

京都府立青少年海洋センターと連携しながら、屋外の田井宮津ヨットハーバーで活動するカヌーを使った事業や日帰りを中心に事業を行いました。

| 事業名 | 期日 | 人員 | 内容等 |
|--------------------------------------|-------------------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 親子でカヌー体験① | 令和3年 8月1日(日) | 6家族 16名 | カヌーの基本的な漕艇水辺の安全教室 |
| 施設無料開放② | 令和3年 11月14日(日) | 11グループ 64名 | 起震車体験、 体育館・・・6グループ 21名 |
| 施設無料開放③ | 令和3年 12月5日(日) | 9グループ 31名 | 体育館・・・4グループ 13名 |
| マリンピアでクリスマス | 令和3年 12月19日(日) | 69グループ 180名 | 宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部他によるミニコンサート、飲食ブース、革クラフトブース(キーホルダー) |
| 合同事業 親子でニュースポーツ体験 「マリンピック2020」 | 令和4年 2月22日(水) | 延 55名 | 地域型スポーツクラブ NPO 法人 Sport Club RAINBOW と共同開催。体育館にて「ユニボッチャ・ウェルネスダーツ・卓球バレー・ウォーキングサッカー・車いすリレー」の5種目を体験。雪遊びの時間も設定 |

また、体育館を使用した下表の事業を計画しましたが、宿泊団体を受け入れたこと、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止としました。

| 事業名 | 予定日 | 事業名 | 予定日 |
|----------------------|-----------------------------|------------------|------------------|
| 親子でカヌー体験② | 令和3年 8月29日(日) | スポーツDE愛(出会い) | 令和4年 2月20日(日) |
| 施設無料開放① | 令和3年 10月17日(日) | 「宮津市ジュニアレスリング教室」 | 令和4年 2月26日(土) |
| 地域スポーツ団体合同事業「親子のつどい」 | 令和4年 1月29日(土) ～30日(日) | | |

6 その他

B&G財団が取り組む『水辺の安全教室』として利用団体のカッター訓練時には、ライフジャケットの重要性を説明し、親子でカヌー体験では「自分の命は自分で守る！」の紙芝居を使った啓発活動を行いました。京都府立青少年海洋センター宿泊団体の協力を得て『海ごみ0(ゼロ)フェスティバル』と題した海岸清掃を行いました。(参加2団体、延べ77名)

大規模修繕として、体育館屋上防水工事を行い体育館アリーナへの雨漏り対策を行いました。

7 主な会議及び研修等

- (1) 令和3年度京都府地域海洋センター連絡協議会総会…令和3年4月28日(水):Zoom
- (2) 令和3年度近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会担当者会議
令和3年12月1日(水)兵庫県多可町文化会館
出席者:宮津市職員2名 センターインストラクター1名